

新人剣道競技大会要項

1. 大会名 第55回筑紫区中学校新人剣道大会
 2. 期 日 令和3年10月9日(土) 競技開始 女子8時30分 男子12時30分
 3. 会 場 筑紫野市立二日市中学校体育館
 4. 参加校
 - ・二日市中学校・筑山中学校・筑紫野中学校・天拝中学校・筑紫野南中学校・学業院中学校
 - ・太宰府中学校・太宰府西中学校・大野中学校・大野東中学校・大利中学校・平野中学校
 - ・御陵中学校・春日中学校・春日東中学校・春日南中学校・春日野中学校・春日北中学校
 - ・那珂川中学校・那珂川南中学校・那珂川北中学校・筑陽学園中学校計 22校
 5. 参加資格 筑紫区中学校体育連盟規約『大会出場資格』による
 6. 競技方法
 - (1) 男子、女子それぞれ、2パートに分けてトーナメント戦で順位を決定する。
順位の決定については、対戦した上位校に準ずるものとする。
 - (2) 試合順序は、午前中に女子の部を行い、午後から男子の部を行う。
尚、表彰については決勝戦後に順位が確定した段階で行う。
 7. 競技規則
 - (1) 試合規則は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び「日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」並びに「本大会申し合わせ事項」による。
 - (2) 引率・監督は当該学校の校長・教員とする。コーチについては、当該学校の教育職員とする。尚、外部指導者のベンチ入りについては、正式に登録を済ませた者のみとする。
 - (3) 面紐の長さは40cm以内とし、長い場合は切断する。
 8. 申し合わせ事項
 - (1) 申し込み後のオーダー変更は認めない。補員交替は、下記の場合のみ認める。
 - ①各試合までに申し込みがあった場合(コート主任に申し出ること)。
 - ②補員出場は、欠場者の位置に入れる。
 - ③一度退場した者は再出場できない。
 - (2) 不正出場が確認された場合、不正出場者は負けとする。
 - (3) 試合時間は3分とし、勝負が決しない場合は、引き分けとする。
 - (4) 学校単位での勝敗の決し方は、①勝者数、②本数、③代表戦とし、代表戦は3分1本勝負(誰でも可)で行なう。
 - (5) 順位決定は次のとおりとする。
4位までは、対戦校の順位に準ずるものとする。5～6位は敗者復活戦を行い、その後は対戦校の順位に準ずる。
 - (6) 代表戦の延長は2分間とし、2回実施後、給水時間3分間の休息を挟むこととする。
以降は勝負が決するまで繰り返して行う。
 - (7) 竹刀は114cm以内、重さ男子440g以上、女子は400g以上とする。先端の直径は男子25mm以上、女子24mm以上とし、先皮の長さは5cmする。
 - (8) コートの広さは10m×10mとする。
 - (9) チームの編成(正選手規定人員に満たないチームは、参加を認めない)
1チーム選手5名と補員2名以内
(ただし3名でも参加は可。5名に満たない場合は ①次鋒、②副将の順で空ける。)
 - (10) 抽選後に欠場が出た場合においても変更は行わない。
 9. 表 彰
 - (1) 上位3チームに賞状を授与する。
 - (2) 筑前大会については男女とも上位6校が出場できる。
 10. 専門部長 藤渡英志郎(二日市中学校) ☎(923-2101)
 11. 審判員
 - ・井本清隆、小橋健太郎(春日東)・田邊俊文(春日南)・神田学(春日野)
 - ・平井智也(大野東)・平居慶一、竹井直也、相場拓弥(平野)・古賀充彦(太宰府)
 - ・山田慎吾、高木大地(筑山)・坂田直子(天拝)・小林史宜(筑紫野)
 - ・小島海月(筑陽学園)・外部審判員
 12. 競技役員
 - ・柳洋輝、竹井奈緒(春日)・岩戸将貴(春日南)・秋永美明(春日北)・萩尾英明(春日野)
 - ・佐竹晃一(大野)・安藤樹生、福島洋二(大野東)・今福豊久、末次利恵(御陵)
 - ・中嶋太一、中山智道(大利)・三亀彩花、山下圭介、瀧本優美子(学業院)
 - ・松本祐里奈(太宰府)・永松剛、高橋康博(太宰府西)・嶺聖子、守田知恵(二日市)
 - ・古賀英利(天拝)・内田歩(筑紫野)・山口隆代、石本早樹子(筑紫野南)
 - ・野中健二、永野恵美(那珂川)・山田稔、綾部典子(那珂川南)・三浦弘嗣(那珂川北)
 - *救護 外村郁子(二日市)
- ※AEDは体育館ステージに設置**
13. 新型コロナウイルス感染防止に係る対応について
 - (1) 無観客で開催する。会場内では、選手・審判員・競技役員等の全員が常時マスク着用を義務付ける。
 - (2) 試合前後の整列時は間隔を1m空けて行う。また、観戦時も同様とする。
 - (3) 試合者は、面マスク及びフェイスシールドの着用を義務付ける。
 - (4) その他、筑紫区中学校総合体育大会開催における感染拡大防止ガイドライン並びに、全日本剣道連盟の感染拡大防止ガイドラインに準じて対応を行うものとする。